

解禁日	ラジオ・テレビ・インターネット	4月28日午前6時
	新聞	4月28日朝刊

令和5年4月27日
知事戦略部
メディアプロモーション課
広報係
内線：2162



令和5年全国広報コンクール審査結果

全国広報コンクール（（公社）日本広報協会主催）の総合審査会が開かれ、本県から推薦したもののうち、広報紙都道府県・政令指定都市部で群馬県が入選を受賞しました。

なお、「ぐんま広報」は、4年連続の受賞となります。

1. 審査結果

部門	順位	審査対象
広報紙 都道府県・政令指定都市部	入選	群馬県「ぐんま広報」 (2022年12月号)



ぐんま広報 (2022年12月号)



ツルノス プラス (2022. Dec)

2. 全国の応募状況

広報紙都道府県・政令指定都市部：51点、

※その他、広報紙（市部、町村部）、ウェブサイト（都道府県・政令指定都市部、市部、町村部）、広報写真（一枚写真部、組み写真部）、映像、広報企画の各部門に計448点が応募

3. 全国広報コンクール

地方自治体などの広報活動の向上に資するため、各種広報作品についてコンクールを行い、優秀な作品を表彰する。

4. 主 催

公益社団法人日本広報協会

5. 後 援

内閣府、総務省、読売新聞社、BSよしもと株式会社

6. 審査方法

前年中に発行された広報紙などを、(公社)日本広報協会の部門別審査委員会にて審査し、各部門の入選作品を選定。さらに、同協会の総合審査委員会（内閣府、総務省、読売新聞社、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本広報協会、部門別代表審査委員で構成）にて審査・承認する。

7. 講 評

特別支援学校の活動を伝えた特集は、大きな写真が目を惹く1面と、2～3面で支援学校の活動概要を伝える情報で構成し、県民の目を紙面に導いている。また、校長・生徒・支援員・連携企業のインタビュー記事を設け、支援活動を分かり易く伝えている。県政の障害児童に対する支援姿勢が伝わる編集。多様性を認め、子どもを地域で見守る社会の実現に向けて、県民の理解を広げる契機にもなる。就労支援員へのインタビューや、自立支援企業の紹介も、企業にとって、社会的意義を県民に認識してもらう契機になる。

増刊号 tsulunus PLUS は、温泉文化の特集では、ユネスコ無形文化遺産登録を目指すなか、群馬県の宝として、1300万人の観光入込数があり、県民のサポートを得る上でも特集する価値があった。県の様々な魅力を訴求し、県民はもとより県外に向けての広報ツールとしても活用できる編集といえる。

8. 表 彰 式

全国広報広聴研究大会(6月23日(金)、栃木県栃木市で開催)で行われる予定

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

